

別表 大学入試センター試験の利用教科・科目及び個別学力検査等の実施教科・科目等について（一般入試）
【教育学部】

学科等名		学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等			2段階選抜
			教科	科目名等		教科等	科目名等		
学校教育 教員養成 課程 幼児教育 コース ・ 小学校教育 コース	前期日程		国	『国語』		必須	国外 数 理 実技検査	『国語』 『英語』 (『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』又は 『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』) (『物基・物』、『化基・化』、『生基・生』、 『地学基・地学』から1科目選択) (『音楽』、『美術』、『保健体育』から1つ選択) 〔1教科1科目〕	から1教科
	後期日程		地歴 公民 理	(『世A』、『世B』、『日A』、『日B』、 『地理A』、『地理B』) から1又は2科目 (『現社』、『倫』、『政経』、 『倫・政経』)から1科目 (1) (『物基』、『化基』、『生基』、 『地学基』)から2科目 (2) (『物』、『化』、『生』、『地学』) から1科目 (3) (『物基』、『化基』、『生基』、 『地学基』)から2科目 並びに(『物』、『化』、『生』、 『地学』)から1科目 (4) (『物』、『化』、『生』、『地学』) から2科目 (1)～(4)の いずれか		から1 又は 2科目 <			

(注) 【学科等名】、【学力検査等の区分】欄

学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程は、A、B、Cの3系別に募集します。

系は個別学力検査等における教科・科目等の区分を表します。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

1 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数A』・・・1科目、『簿・会』・・・1科目)

2 地歴及び公民については、『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』から1又は2科目、『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』から1科目までの成績を用います。

3 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。(右表「大学入試センター試験の配点等」参照)

●地歴、公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は(3)又は(4)を選択してください。なお、理科で(3)を選択する場合には、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

●地歴、公民で指定した科目から2科目選択する場合は、理科は(1)～(4)のいずれかを選択してください。

●地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の第1解答科目

イ. 地歴、公民の第2解答科目

ウ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計)

エ. 理科の基礎を付さない科目

ただし、理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、ア、イの2科目の成績と、ウ、エのうち高い方の成績を用います。

また、地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。

4 『簿記・会計』、『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。

5 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

1 学校教育教員養成課程中学校教育コース前期日程の教科・科目等は、A系が国語又は外国語、B系が数学又は理科、C系が実技検査(『音楽』、『美術』、『保健体育』からいずれか1つ選択)です。

2 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例：『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目、『物基・物』・・・1科目)

3 『国語』 『国語総合』、『現代文B』、『古典B』の3科目を合わせた範囲から出題します。

4 数学 『数Ⅰ』、『数Ⅱ』、『数A』、『数B』の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は『数Ⅰ』、『数Ⅱ』、『数Ⅲ』、『数A』、『数B』の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。

『数A』は(場合の数と確率)、(図形の性質)を、『数B』は(数列)、(ベクトル)を出題範囲とします。

ただし、中学校数学、あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。

5 外国語『英語』 『コミュニケーション英語Ⅰ』、『コミュニケーション英語Ⅱ』、『コミュニケーション英語Ⅲ』、『英語表現Ⅰ』、『英語表現Ⅱ』の5科目を合わせた範囲から出題します。

6 理科 『物基・物』は、『物理基礎』と『物理』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

『化基・化』は、『化学基礎』と『化学』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

『生基・生』は、『生物基礎』と『生物』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

『地学基・地学』は、『地学基礎』と『地学』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

7 小論文 広く人文・社会・自然・芸術等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。
- 4 大学入試センター試験の利用教科・科目の選択パターンは、次のⅠ～Ⅵの6通りです。

大学入試センター試験の配点等														
学科名等	選択パターン	等 の 区 分	学 力 検 査	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	配 点 合 計	成績の利用方法等	
							①	②	①	②				
学校教育教員養成課程・人間発達環境課程	I 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(3)を選択した場合	前期日程・後期日程		200	100		100	100	(50) 100 (50)	100	200	900		
	II 地歴、公民で指定した科目から1科目選択し、理科は(4)を選択した場合			200	100		100	100		100	100	200	900	
	III 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(1)を選択した場合			200	100 200	100	100	(50) 100 (50)				200	900	
	IV 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(2)を選択した場合			200	100 200	100	100			100		200	900	
	V 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(3)を選択した場合			200	*100 *200 100 200	*100	100	100	(50) *100 (50)	*100	200	900	*印を付したのものについては、地歴、公民の第1解答科目の成績と、「地歴、公民の第2解答科目」、「理科①」、「理科②」のうち高い順に2つの成績を用います。 理科の(3)で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合に、*を付したのものについては、「理科①」、「理科②」のうち高い方の成績を用います。	
	VI 地歴、公民で指定した科目から2科目選択し、理科は(4)を選択した場合			200	*100 *200	*100	100	100			*100 *100	200	900	*印を付したのものについては、「地歴、公民」、「理科」の各第1解答科目の成績と、「地歴、公民」、「理科」の第2解答科目のうち高い方の成績を用います。

【個別学力検査等の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査等の配点等									
学科等名		学力検査等の区分	国語	数学	理科	外国語	実技	小論文	配点 合計
学校教育教員養成課程	幼児教育コース 小学校教育コース	前期日程	*200	*200	*200	*200	*200		200
		後期日程						200	200
	中学校教育コース	前期日程	A系	*200		*200			200
			B系		*200	*200			200
			C系				200		200
		後期日程						200	200
	人間発達環境課程	前期日程	*200	*200	*200	*200			200
		後期日程						200	200

【法学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
(昼間コース) 法学科	前期日程	国	『国語』 必須	数外	『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』 『英語』 から1教科 〔1教科1科目〕	
		地歴	〔『世B』, 『日B』, 『地理B』〕から1又は2科目			
		公民	〔『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』〕から1科目			
		数	〔『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』〕から1科目			
	後期日程		〔『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』〕から1科目	その他	小論文	
		理	〔『物基』, 『化基』, 『生基』, 『地学基』〕から2科目又は 〔『物』, 『化』, 『生』, 『地学』〕から1科目			
		外	〔『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』〕から1科目 〔5教科7科目又は6教科7科目（理科で基礎を付した科目を選択する場合は5教科8科目又は6教科8科目）〕			

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)
- 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 理科について、指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を1科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。
 ア. 基礎を付した科目(2科目の合計) }
 イ. 基礎を付さない科目 } ア又はイのうち高得点の科目(アを用いる場合は2科目)
 また、理科について、指定した科目から基礎を付さない科目を2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目)
- 数学 「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数A」, 「数B」の4科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は(場合の数と確率), (図形の性質)を, 「数B」は(数列), (ベクトル)を出題範囲とします。
ただし、中学校数学, あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。
- 小論文 広く社会・政治・法律・人文等の分野から選んだ素材に即して論述するものです。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。
- 4 大学入試センター試験の利用教科・科目の選択パターンは、次のⅠ～Ⅷの8通りです。

大学入試センター試験の配点等														
学科等名	選択パターン	等 の 区 分 学 力 検 査	国語	地歴	公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等		
						①	②	①	②					
(昼間コース) 法学科	I 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目を選択した場合	前期日程 ・ 後期日程	200	100	100	100	100	(50)	(50)	100	200	900		
	II 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	100	100	100	100			100	200	900		
	III 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目及び基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	100	100	100	100	(50)	(50)	* 100	200	900	*印を付したのものについては、高い方の成績を用います。	
	IV 地歴、公民で指定した科目からそれぞれ1科目選択し、理科は基礎を付さない科目から2科目を選択した場合		200	100	100	100	100			* 100	* 100	200	900	*印を付したのものについては、第1解答科目の成績を用います。
	V 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目を選択した場合		200	200 (2科目)		100	100	(50)	(50)	100		200	900	
	VI 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	200 (2科目)		100	100				100	200	900	
	VII 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付した科目から2科目及び基礎を付さない科目から1科目を選択した場合		200	200 (2科目)		100	100	(50)	(50)	* 100		200	900	*印を付したのものについては、高い方の成績を用います。
	VIII 地歴で指定した科目から2科目選択し、理科は基礎を付さない科目から2科目を選択した場合		200	200 (2科目)		100	100				* 100	* 100	200	900

【個別学力検査等の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査等の配点等					
学科等名	学力検査等の区分	数学	外国語	小論文	配点合計
(昼間コース) 法学科	前期日程	*300	*300		300
	後期日程			300	300

【経済学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	
(昼間コース) 経済学科	前期日程	国	『国語』	必須	外	『英語』	〔1教科1科目〕
		地歴 公民 理	(「世B」, 「日B」, 「地理B」) (「現社」, 「倫」, 「政経」, 「倫・政経」) (1) (「物基」, 「化基」, 「生基」, 「地学基」) から2科目 (2) (「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から1科目 (3) (「物基」, 「化基」, 「生基」, 「地学基」) から2科目並びに(「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から1科目 (4) (「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から2科目	から1 又は2科目 (1)～(4)の いずれか	から3科目 (理科で(1) 又は(3)を選 択する場合 は4科目)		
	後期日程	数	(「数Ⅰ」, 「数Ⅰ・数A」)	から1科目	その他	小論文	
		外	(「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」)	から1科目			
経営システム 学科			(「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から1科目				
地域社会 システム学科			(「物」, 「化」, 「生」, 「地学」) から2科目				
			(「数Ⅱ」, 「数Ⅱ・数B」, 「簿・会」『情報』)				
			(「英」, 「独」, 「仏」, 「中」, 「韓」)				
			〔5教科7科目又は6教科7科目(理科で(1)又は(3)を選択 する場合は5教科8科目又は6教科8科目)〕				

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:「数Ⅰ・数A」・・・1科目, 「簿・会」・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合に、指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができませんので、注意してください。
なお、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- 地歴、公民、理科の利用科目等は次のとおりです。(右表「大学入試センター試験の配点等」参照)
 ●地歴、公民で指定した科目から1科目選択する場合は、理科は(3)又は(4)を選択してください。なお、理科で(3)を選択する場合には、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
 ●地歴、公民で指定した科目から2科目選択する場合は、理科は(1)～(4)のいずれかを選択してください。
 ●地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(3)により3科目受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 地歴、公民の第1解答科目	・・・	1科目	} 3科目(ウを用いる場合は4科目)
イ. 地歴、公民の第2解答科目	} イ～エのうち高得点順に2科目 (ウを用いる場合は3科目)		
ウ. 理科の基礎を付した科目(2科目の合計)			
エ. 理科の基礎を付さない科目			

 ただし、理科で同一名称を含む出題科目同士を選択した場合は、ア、イの2科目の成績と、ウ、エのうち高い方の成績を用います。
 また、地歴、公民について指定した科目から2科目並びに理科について(4)により2科目受験している場合には、第1解答科目の2科目及び第2解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。
- 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。
- 小論文 広く経済・社会・文化一般等の分野から選んだ素材に即して論述解答するものです。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 理科①は、1科目「50点」で、2科目合わせて「100点」の配点となります。
- 3 外国語で「英語」を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。
- 4 前期日程の大学入試センター試験については、各教科に傾斜配点をした配点A～配点Cを計算し、最も高得点の配点型を利用します。
- 5 大学入試センター試験の利用教科・科目の選択パターンは、次のⅠ～Ⅵの6通りです。

大学入試センター試験の配点等													
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分		国語	地歴 公民		数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等
							①	②	①	②			
(昼間コース) 経済学科 経営システム 学科 地域社会 システム学科	Ⅰ 地歴、公民で 指定した科目から 1科目選択し、 理科は(3)を選択 した場合	前期 日程	配点A	300	100		100	100	(50) (50) 100	100	200	1000	
			配点B	200			150	150			200		
			配点C	200			100	100			300		
		後期 日程		200	100	100	(50) (50) 100	100	200	900			
	Ⅱ 地歴、公民で 指定した科目から 1科目選択し、 理科は(4)を選択 した場合	前期 日程	配点A	300	100		100	100	/	100	200	1000	
			配点B	200			150	150			200		
			配点C	200			100	100			300		
		後期 日程		200	100	100	/	100	200	900			
	Ⅲ 地歴、公民で 指定した科目から 2科目選択し、 理科は(1)を選択 した場合	前期 日程	配点A	300	100	100	100	100	(50) (50) 100	/	200	1000	
			配点B	200			150	150			200		
			配点C	200			100	100			300		
		後期 日程		200	100	100	(50) (50) 100	/	200	900			
	Ⅳ 地歴、公民で 指定した科目から 2科目選択し、 理科は(2)を選択 した場合	前期 日程	配点A	300	100	100	100	100	/	100	200	1000	
			配点B	200			150	150			200		
			配点C	200			100	100			300		
		後期 日程		200	100	100	/	100	200	900			
Ⅴ 地歴、公民で 指定した科目から 2科目選択し、 理科は(3)を選択 した場合	前期 日程	配点A	300	*100	*100	100	100	(50) (50) *100	*100	200	1000		
		配点B	200			150	150			200			
		配点C	200			100	100			300			
	後期 日程		200	*100	*100	100	100	(50) (50) *100	*100	200	900		
Ⅵ 地歴、公民で 指定した科目から 2科目選択し、 理科は(4)を選択 した場合	前期 日程	配点A	300	*100	*100	100	100	/	*100	200	1000		
		配点B	200			150	150			200			
		配点C	200			100	100			300			
	後期 日程		200	*100	*100	100	100	/	*100	200	900		

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等				
学科等名	学力検査等の区分	外国語	小論文	配点 合計
(昼間コース) 経済学科 経営システム学科 地域社会システム学科	前期日程	200		200
	後期日程		200	200

【医学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
医学科	前期日程	国	『国語』 必須	数	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』 必須	約5倍
		地歴	(『世B』, 『日B』, 『地理B』) から1科目	理	(『物基・物』, 『化基・化』, 『生基・生』) から2科目	
		公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』) から1科目	外	『英語』 必須 (3教科4科目)	
	後期日程	数	『数Ⅰ・数A』 必須 (『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目	その他	面接	約12倍
		理	(『物』, 『化』, 『生』) から2科目	その他	小論文 面接	
看護学科	前期日程	外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 (5教科7科目)	その他	面接	
		国	『国語』 必須			
		地歴	(『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』) から1科目			
		公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』) から1科目			
		理	(1) (『物基』, 『化基』, 『生基』) から2科目 (2) (『物』, 『化』, 『生』) から1科目		(1), (2)のいずれか	
		数	(『数Ⅰ・数A』, 『数Ⅱ・数B』, 『簿・会』, 『情報』) から1科目			
		外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 (5教科5科目(理科で(1)を選択する場合は5教科6科目))			

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

〈共通〉

1 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目, 『簿・会』・・・1科目)

2 『簿記・会計』, 『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。

3 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。

ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

〈医学科〉

地歴及び公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、個別学力検査等を受験することができませんので、注意してください。

〈看護学科〉

1 地歴及び公民について2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。

2 数学について指定した科目から2科目受験している場合は、高得点の科目の成績を用います。

3 理科について基礎を付さない科目を2科目受験している場合は、第1解答科目の成績を用います。指定した科目を第1解答科目として受験していない場合は、(2)を選択することができませんので、注意してください。

また、指定した科目から基礎を付した科目を2科目並びに基礎を付さない科目を受験している場合には、次の科目の成績を用います。

ア. 基礎を付した科目(2科目の合計) } ア又はイのうち高得点の科目(アを用いる場合は2科目)

イ. 基礎を付さない科目

【個別学力検査等】欄

〈医学科〉

1 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。

なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』・・・1科目, 『物基・物』・・・1科目)

2 数学 「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数Ⅲ」, 「数A」, 「数B」の5科目を合わせた範囲から出題します。

「数A」は(場合の数と確率), (図形の性質)を, 「数B」は(数列), (ベクトル)を出題範囲とします。

ただし、中学校数学, あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。

3 理科 『物基・物』は, 「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

『化基・化』は, 「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

『生基・生』は, 「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

4 外国語『英語』 「コミュニケーション英語Ⅰ」, 「コミュニケーション英語Ⅱ」, 「コミュニケーション英語Ⅲ」, 「英語表現Ⅰ」, 「英語表現Ⅱ」の5科目を合わせた範囲から出題します。

【大学入試センター試験の配点等】

〈共通〉

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。《後期日程》 医学部医学科のみ、筆記「240点」、リスニング「60点」の計「300点」とします。ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「300点」とします。。

〈看護学科〉

- 1 理科①は、1科目「75点」で、2科目合わせて「150点」の配点となります。

大学入試センター試験の配点等													
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分	国語	地歴 公民	数学		理科				外国語	配点 合計	成績の利用方法等
					①	②	①		②				
医学科		前期日程	200	100 (1科目)	100	100			100	100	200	900	地歴、公民で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
		後期日程	200	100 (1科目)	150	150			150	150	300	1200	
看護学科	I 理科で(1)を選択した場合	前期日程	200	100 (1科目)	150 (1科目)	(75) (75) 150				200	800	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。数学で指定した科目から2科目受験している場合には、高得点の科目の成績を用います。	
	II 理科で(2)を選択した場合		200	100 (1科目)	150 (1科目)			150 (1科目)		200	800	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。数学で指定した科目から2科目受験している場合には、高得点の科目の成績を用います。理科②で指定した科目から2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。	

【個別学力検査等の配点等】

個別学力検査等の配点等							
学科等名	学力検査等の区分	数学	理科	外国語	小論文	面接	配点 合計
医学科	前期日程	200	200	200		100	700
	後期日程				200	100	300
看護学科	前期日程					200	200

【工学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
安全システム 建設工学科	前期日程	国	『国語』 必須	数 理	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』 (『物基・物』, 『化基・化』 から1科目) 〔1教科1科目〕	
		地歴	(『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』) から1科目			
		公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』) から1科目			
	後期日程	数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『情報』) から1科目	その他	小論文	
		理	(『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) から2科目			
		外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 〔5教科7科目〕			
電子・情報 工学科 知能機械 システム 工学科 材料創造 工学科	前期日程	国	『国語』 必須	数 理	『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』 (『物基・物』, 『化基・化』 から1科目) 〔1教科1科目〕	
		地歴	(『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』) から1科目			
		公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』) から1科目			
		数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『情報』) から1科目			
		理	『物』 必須 (『化』, 『生』, 『地学』) から1科目			
		外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 〔5教科7科目〕			
	後期日程	国	『国語』 必須	その他	小論文	
		地歴	(『世A』, 『世B』, 『日A』, 『日B』, 『地理A』, 『地理B』) から1科目			
		公民	(『現社』, 『倫』, 『政経』, 『倫・政経』) から1科目			
		数	(『数Ⅰ』, 『数Ⅰ・数A』) から1科目 (『数Ⅱ』, 『数Ⅱ・数B』, 『情報』) から1科目			
		理	(『物』, 『化』, 『生』, 『地学』) から2科目			
		外	(『英』, 『独』, 『仏』, 『中』, 『韓』) から1科目 〔5教科7科目〕			

(注) 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』・・・1科目, 『物基・物』・・・1科目)
- 数学 「数Ⅰ」, 「数Ⅱ」, 「数Ⅲ」, 「数A」, 「数B」の5科目を合わせた範囲から出題します。
「数A」は(場合の数と確率), (図形の性質)を, 「数B」は(数列), (ベクトル)を出題範囲とします。
ただし、中学校数学, あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 理科 『物基・物』は, 『物理基礎』と『物理』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は, 『化学基礎』と『化学』の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
- 小論文 小論文は、本学部学生に求められる素質や能力としての読解力, 論理的思考力及び表現力等を評価します。素材は、特定の教科にかたよらず、広く人文・社会・自然等の分野から選ばれます。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。

大学入試センター試験の配点等											
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分	国語	地歴 公民	数学		理科		外国語	配点 合計	成績の利用方法等
					①	②	①	②			
安全システム建設工学科 電子・情報工学科 知能機械システム工学科 材料創造工学科		前期日程 後期日程	200	100 (1科目)	100	100		100 100	200	900	地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。

【個別学力検査等の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査等の配点等						
学科等名	学力検査等の区分	数学	理科		小論文	配点 合計
			物理	化学		
安全システム建設工学科 電子・情報工学科	前期日程	*200	*200	*200		200
知能機械システム工学科 材料創造工学科	後期日程				100	100

【農学部】

学科等名	学力検査等の区分	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		
		教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜
応用生物科学科	前期日程	国	『国語』 必須	数 理	(『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』又は『数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B』) (『物基・物』,『化基・化』,『生基・生』から1科目) (1教科1科目)	から1科目
		地歴	(『世A』,『世B』,『日A』,『日B』,『地理A』,『地理B』)			
		公民	(『現社』,『倫』,『政経』,『倫・政経』)			
		数	(『数Ⅰ』,『数Ⅰ・数A』) から1科目			
			(『数Ⅱ』,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』) から1科目			
		理	(『物』,『化』,『生』,『地学』) から2科目			
		外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』) から1科目			
			(5教科7科目)			
	後期日程	数	(『数Ⅰ』,『数Ⅰ・数A』) から1科目	その他	面接	
			(『数Ⅱ』,『数Ⅱ・数B』,『簿・会』,『情報』) から1科目			
		理	(『物』,『化』,『生』,『地学』) から2科目			
		外	(『英』,『独』,『仏』,『中』,『韓』) から1科目			
			(3教科5科目)			

(注)【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数A』・・・1科目,『簿・会』・・・1科目)
- 地歴及び公民について2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
- 『簿記・会計』,『情報関係基礎』は高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。)において履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込み)者に限ります。
- 外国語で『英語』を選択した場合は、リスニングの成績を利用します。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者は、筆記試験のみとします。

【個別学力検査等】欄

- 『 』内記載のものは、2つの科目を総合したもの又は2つ以上の科目に共通する内容を盛り込んだ出題科目です。
なお、『 』内の記載を1科目と数えます。(例:『数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B』・・・1科目,『物基・物』・・・1科目)
- 数学 「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数A」,「数B」の4科目を合わせた範囲から出題する問題又は「数Ⅰ」,「数Ⅱ」,「数Ⅲ」,「数A」,「数B」の5科目を合わせた範囲から出題する問題のいずれかを選択解答してください。
「数A」は(場合の数と確率),(図形の性質)を,「数B」は(数列),(ベクトル)を出題範囲とします。
ただし、中学校数学,あるいは数学の出題範囲内で扱われている整数に関する性質は、問うこともあります。
- 理科 『物基・物』は,「物理基礎」と「物理」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『化基・化』は,「化学基礎」と「化学」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。
『生基・生』は,「生物基礎」と「生物」の2科目を合わせた範囲から出題する問題です。

【大学入試センター試験の配点等】

- 1 数学及び理科の①②は、大学入試センター試験で選択受験できる出題科目のグループを表します。
- 2 外国語で『英語』を選択した場合の配点は、筆記「160点」、リスニング「40点」の計「200点」とします。
ただし、大学入試センターからリスニングを免除された者の配点は、筆記「200点」とします。

大学入試センター試験の配点等												
学科等名	選択パターン	学力検査等の区分	国語	地歴 公民	数学		理科			外国語	配点 合計	成績の利用方法等
					①	②	①		②			
応用生物科学科		前期日程	200	100 (1科目)	100	100			100	100	200	900 地歴、公民で2科目受験している場合には、第1解答科目の成績を用います。
		後期日程			100	100			200	200	200	800

【個別学力検査等の配点等】

*印は選択教科・科目を表します。

個別学力検査等の配点等					
学科等名	学力検査等の区分	数学	理科	面接	配点 合計
応用生物科学科	前期日程	*200	*200		200
	後期日程			50	50

〔４〕実技検査（教育学部学校教育教員養成課程（前期日程）のみ）

幼児教育コース，小学校教育コースで実技検査を受験する者及び中学校教育コースでＣ系を受験する者	
音 楽	実技検査（音楽）を受験する者は，下記の検査項目のうち（１）は必ず受験し，それに加えて（２）から（４）のうちいずれか１つを選択し，合わせて計２項目を受験してください。 （１） ピアノ：モーツァルト，ベートーヴェンのソナタの中より，第１楽章又は終楽章から任意の１楽章を演奏する（ただし，緩徐楽章を除く。）。 （２） 新曲視唱及び旋律聴音 （３） 歌曲：以下の６曲（ア～カ）の中から任意の１曲を選び，原語で演奏する。 ア．Nina G. B. Pergolesi … e moll イ．Nina G. B. Pergolesi … d moll ウ．Nina G. B. Pergolesi … 上記以外の調 エ．浜辺の歌（１，２番を歌唱） 成田 為三 … As dur オ．浜辺の歌（１，２番を歌唱） 成田 為三 … F dur カ．浜辺の歌（１，２番を歌唱） 成田 為三 … 上記以外の調 <u>なお，ウ・カを希望する者は，移調楽譜１部（伴奏譜を含む。）を入学願書に添えて提出してください。</u> （４） 管弦打楽器：任意の１曲を無伴奏で演奏する。 備考 １．演奏は，すべて暗譜によるものとし，繰り返しは省略してください。 ２．管弦打楽器は，各自持参してください。
美 術	実技検査（美術）を受験する者は，下記の検査項目を受験してください。 （１） 文章又は図で示された幾何形体を鉛筆で表示する。 （２） 静物を鉛筆でデッサンする。 備考 検査に必要な用具は各自持参してください（画板，用紙は用意します。）。
保健体育	実技検査（保健体育）を受験する者は，下記（１），（２）を受験してください。 （１） 一般運動能力テスト （ジグザグ走，20mシャトルラン，立ち５段跳び，長座メディシンボール投げ） （２） 次の中から１種目選択 １．陸上競技 ２．器械運動 ３．ダンス ４．柔道 ５．剣道 ６．水泳 ７．バスケットボール ８．バレーボール ９．サッカー 10．ハンドボール 11．バドミントン 12．卓球 13．硬式野球 14．ソフトボール 15．硬式テニス 16．ソフトテニス 備考 １．十分に運動のできる服装を用意してください。 ２．一般運動能力テストは体育館で行います。体育館シューズを持参してください。 ３．スパイク使用種目については，その使用を認めます。 ４．用具は，大学で用意します（受験者の持参も可）。 ５．水泳は，屋内温水プールで行います。 ６．受験者数等の都合で，実技検査は時刻までかかる場合があります。